

内藤虎次郎「周公彝釋文」

佐々木 研太

初出：『高瀬博士還暦記念支那学論叢』小島祐馬編纂、弘文堂書房、1928年。

所収：『内藤湖南全集』第14巻、筑摩書房、1997年。

引用：白川静「爨殷」（初出：1965年。『白川静著作集 別巻 金文通積1 [上]』平凡社、2004年）

→以下には、『通積』と記す。

内藤虎次郎（湖南）が周公彝と呼ぶ青銅器は、いま器名を邢侯殷とすることが多い。それでも榮殷などの別の器名を用いる研究者がそれなりにいるのは、銘文解釈の基本である器主の判断すら、研究者のあいだで十分に共有されていないことを物語っている。それはとりもなおさず、この青銅器の銘文が難解であるからにはほかならない。このことに関しては、松丸道雄も、

二、三の文字を除いて隸定にさして問題はないが、しかし、全体の文意の把握しがたい点では、西周金文中、屈指の難解な金文といえよう。形式上のいわゆる「作器者」にしても、その読み方の相違から、「作周公彝」の主語をどれとみるかについて、異論がある。

と端的に述べている⁽¹⁾。

ここに紹介する内藤虎次郎の論考は、難解なこの銘文の、最初期の考釈として貴重なものである⁽²⁾。それは、『通積』や『商周青銅器銘文選』が最も古い参考文献として挙げる柯昌濟『鞞華閣集古録跋尾』（1935年）に、

無令于有周誼未詳、内藤虎先生分釈無字為無終二字、以上文三帝無終為一句、並引史記索隱為說。（己篇、十八葉）

と、内藤虎次郎の説を引用していることから明らかである。

そうではあるが、内藤虎次郎のこの論考が広く参照されているかといえばそんなことはないようである。初出は句点を付しただけの正統の漢文であり、上引のように柯昌濟が「内藤虎先生」と名を挙げているにもかかわらず、管見にして、『通積』のほかにこの論考を参照したであろう銘文考釈を知らないからである。

研究者の多くが、先行研究にこの論考があることを知らずにいるのか、あるいは引用するに値しないと判断して無視しているのか、もとより知るすべはないけれども、初出である論文集がごく限られた大学図書館などでしか閲覧できないのに対し、広く普及している『内藤湖南全集』では初出にあった句点を省いてまったくの白文にして収録していることも、通読を困難なものにしている一因であるかもしれない。そう考えて、両周金文研究会では、最初期の銘文考釈としての価値を周知するべく、初出の原文を再掲し、豊富な引用資料の出典を明らかにして、今後の研究に供することにした。

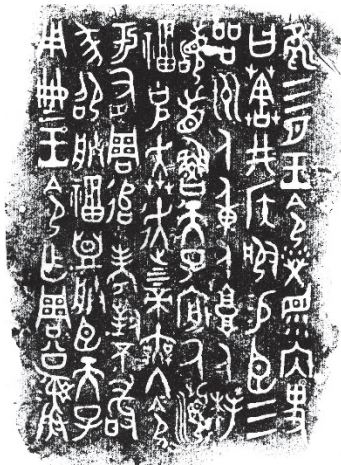
注

(1) 松丸道雄編『西周青銅器とその国家』167頁（東京大学出版会、1980年）。

(2) もっとも、最近の研究によると、1924年にライオネル・チャールズ・ホプキンスが「論新発現的一件周初有銘銅器」（英文）を発表し、銘文の考釈を試みているようである。中国社会科学網の「深化堯山文化研究 助力建設中華民族現代文明——中国・隆堯首届堯山文化論壇在河北邢台举行」（2024年6月

25 日、https://www.cssn.cn/lxx/slcz/202406/t20240625_5760941.shtml) に「中国社会科学院古代史研究所鄧曉娜介绍了邢侯簋的早期英文文献。邢侯簋相传出于 1921 年、1922 年被英国收藏家尤摩弗帕勒斯購得、1924 年在英国皇家亚细亚文会百年紀念展覽中展出。1924 年英国汉学家金璋发表「論新發現的一件周初有銘銅器」、公布此器的照片、併对銘文進行考积、是对邢侯簋的最早研究、具有開創性。」とある。

1、図版





『集成』4241

2、本文（初出に基づく。ただし、原文の割注は丸括弧で示した）




隹三月。王命艾眾内史。
曰**彝**井侯服。賜臣三
品。州人東人庸人。拜
稽首。魯天子廟。卒瀕
福。克奔走。三帝無終。命
于有周。追考對不敢
墜。召朕福。盟朕臣。天子
用冊王命。作周公彝。







周公彝今藏英國游沒弗補洛氏。禹域金石學家未有著錄。（王氏國維國朝金文著錄表。據羅氏集古遺文載周公彝。疑即此器。）惟丁氏佛言說文古籀補補。容氏庚金文編。屢引其文。（容氏稱爲周公敦。）艾容氏未釋。今姑從丁氏所釋⁽¹⁾。曲禮五十曰艾⁽²⁾。爾雅釋詁艾長也⁽³⁾。方言倭艾老也。東齊魯衛之間。凡尊老謂之倭。或謂之艾。南楚謂之父。或謂之父老⁽⁴⁾。書文侯之命所謂耆壽⁽⁵⁾。秦誓所謂黃髮⁽⁶⁾。是也。高田氏忠周釋爲榮。眾說文目相及也。从目从逮省⁽⁷⁾。與逌逮通。爾雅釋言逮及也⁽⁸⁾。方言廣雅（釋言）並云。逌及也⁽⁹⁾。内史出于周禮春官。漢書百官公卿表内史周官。秦因之。掌治京師⁽¹⁰⁾。書酒誥云内史友⁽¹¹⁾。左傳僖廿八年有内史叔興父⁽¹²⁾。襄十年有周内史⁽¹³⁾。大戴記盛德篇。太史内史左右手也⁽¹⁴⁾。**彝**井侯服。容氏讀井爲邢。邢侯連讀。今讀異此。**彝**丁氏引此銘云。或謂是古割字⁽¹⁵⁾。割井之言。蓋畫井田於侯服之地

也。又廣雅釋詁割裁也⁽¹⁶⁾。井孳乳爲刑。爾雅釋詁刑法也⁽¹⁷⁾。以周法裁制侯服之地也。賜臣三品。說文品衆庶也⁽¹⁸⁾。三品卽下文所云州人東人庸人也。書禹貢。金三品⁽¹⁹⁾。憲齋集古錄三家敦。(攬古錄以爲追叔敦。)貝三朋。臣三家。語皆類此。州人。管子君道篇。文王偶然乃舉太公於州人而用之⁽²⁰⁾。俞氏樾謂當從韓詩外傳作舟人。太公身爲漁父。而釣於渭濱。故言舟人也。舟州古字通⁽²¹⁾。王氏筠謂州爲疇借字⁽²²⁾。卽說文所云各疇其土而生之義⁽²³⁾。案兩說皆非。州說文水中可居者。詩關雎在河之州⁽²⁴⁾。(今本作洲。乃俗別字。)是其本義。張華博物志。趙東臨九州。西瞻恒嶽⁽²⁵⁾。是九州者卽九河之州。齊侯罇所云。咸十九州。處禹之堵。亦此意。禹貢·爾雅·職方九州⁽²⁶⁾。則推而大之。以被神州。至於鄒衍所談裨海九州·大瀛海九州之說⁽²⁷⁾。雖流於闊大不經。要亦誇張之言矣。孟子云。太公辟紂居東海之濱⁽²⁸⁾。九河之州。實濱東海。荀子州人乃此義。皆因齊建國於東海。施而上及之於太公耳。馳說者之不拘。往往如此。可知此銘州人。亦卽九河之州所棲之民。東人。東從丁容二氏釋。魯頌閟宮云。乃命魯公。俾侯于東。又云。遂荒大東⁽²⁹⁾。書金縢。周公居東二年。書序。唐叔得禾。王命歸周公于東⁽³⁰⁾。是知東人者東土之人。(東土語。出于史記周本紀魯世家⁽³¹⁾。)對牧誓西土之人而言之⁽³²⁾。庸人。容氏釋爲郭人。丁氏未釋。案公羊傳。號皆作郭⁽³³⁾。則郭人若可讀爲號人。然古器文。號仲號叔號季號公皆不作郭。則此銘所云非號人。明矣。丁氏章部宮部土部並舉章字云。古郭城墉本爲一字。後因字多用異。一爲部首。一附墉字下。又訓用。與庸字通。又引毛公鼎。余非庸又昏。以吳氏大澂讀庸爲廓爲非⁽³⁴⁾。(容氏說同。)今讀從之。定爲庸人。但周初稱庸之地有二。一則邠邠之邠。古文宜作庸。一則出于牧誓。庸蜀羌髳微盧彭濮人。案上已有東人。兼殷商舊疆。則此庸人必非殷民所國之邠。其爲牧誓八國之一決矣。孔傳。庸濮在江漢之南⁽³⁵⁾。王氏鳴盛云。庸卽上庸。今房縣地。在江北漢南⁽³⁶⁾。又左傳文十六年。庸爲楚所滅。杜注今上庸縣⁽³⁷⁾。是也。魯天子廟。魯旅也。史記周本紀。周公受禾東土。魯天子之命。集解徐廣曰。尚書序云。旅天子之命⁽³⁸⁾。魯世家作嘉天子命。徐廣亦云。嘉一作魯。今書序作旅也⁽³⁹⁾。梁氏玉繩志疑云。釋詁旅陳也。宋丁度集韻。旅古作魯。又見說文及左傳首篇疏。又宋董道廣川書跋云。秦和鍾曰。以受毛魯多釐。魯古文旅⁽⁴⁰⁾。梁氏遂據斷索隱以魯爲誤之非矣。詩賓之初筵。殺核惟旅⁽⁴¹⁾。左傳莊廿六年。庭實旅百⁽⁴²⁾。今義宜依之。廟容氏未釋。今從丁氏釋⁽⁴³⁾。畢瀕福。畢與厥通。梅氏隸古定尚書。作又。古器習見之文。瀕說文水厓也。人所賓附⁽⁴⁴⁾。是瀕義引伸可以爲賓。福胙肉也。見晉語韋昭解⁽⁴⁵⁾。禮記禮器⁽⁴⁶⁾。祭則受福。瀕福者諸侯來賓受福也。克奔走。周頌清廟。駿奔走在廟⁽⁴⁷⁾。禮記大傳。天下諸侯執豆籩遂奔走⁽⁴⁸⁾。是也。三帝謂虞夏商之帝。三恪之祖所自出。(非鄭君所謂太微五帝。)禮記祭法。虞夏皆禘黃帝。殷人禘嚳⁽⁴⁹⁾。是三代而二帝。與此器文異。蓋周初未有黃帝帝嚳之說。玄鳥生商。武敏震稷。亦皆無父感生。不繫於帝嚳。宜各禘其祖之所自出。虞夏二代之於黃帝。亦復爾爾。則此銘三帝之義。猶近於古也。無終者。天命不能竟也。論語堯曰。天祿永終。皇侃疏永長也。終猶卒竟也。若內正中國。外被四海。則天祚祿位。長卒竟汝身也⁽⁵⁰⁾。正與此終字同義。閻氏若璩謂魏晉以後解永終爲永絕⁽⁵¹⁾。不應古義。猶信。要之三帝無終者。猶書多士多方立政諸篇。夏商周三代迭興之說也。追考之考。讀爲孝。出于劉氏心源仲師父鼎釋文⁽⁵²⁾。對不敢墜。對揚其休。不敢失墜也。亦古器習見之語。召朕福。盟朕臣。誥命之辭。至此而終。召從羅氏振玉釋。今讀爲紹⁽⁵³⁾。吳氏大澂云。古文召紹詔招詔昭爲一字⁽⁵⁴⁾。丁氏引作邵朕福盟⁽⁵⁵⁾。是以盟字爲句也。但經傳古器。未見有福盟之語。且下朕臣天子。不成語矣。冊從丁氏釋⁽⁵⁶⁾。案周公既平武庚管蔡之亂。逐踐奄。(見書序⁽⁵⁷⁾及正義⁽⁵⁸⁾。)作新邑于東國洛。四方民大和會。侯甸男邦采衛百工播。民和。(見書康誥⁽⁵⁹⁾。)伯禽·康叔·唐叔皆受分土。魯公得殷民六族條氏徐氏蕭氏索氏長勺氏尾勺氏。以法則周公。用卽命于周。(杜注卽就也。使六族就周。受周公之封制⁽⁶⁰⁾。)分之土田陪敦。因商奄之民。封於少皞之虛。康叔得殷民七族陶氏施氏繁氏錡氏樊氏饑氏終葵氏。封畛土略。封於殷虛。皆啓以商政。疆以周索。(杜注疆理土地以周法。索法也。)唐叔得懷姓九宗·職官五



正。(杜注懷姓唐之餘民。九宗一姓爲九族。職官五正。五官之長⁽⁶¹⁾。)封於夏虛。啓以夏政。疆以戎索⁽⁶²⁾。
(以上語出左傳定四年。)此器疑作于此分封之際。以紀周公之政。割井侯服。賜州人東人。皆其事也。

3、引用文献

- (1) 『說文古籀補補』(丁佛言)第一·艾·五葉「 周公彝」。
- (2) 『礼記』曲礼上「人生……五十曰艾、服官政」。
- (3) 『爾雅』积詁「育孟耆艾正伯、長也」。
- (4) 『方言』第六「倭艾長、老也。東齊魯衛之間凡尊老謂之倭、或謂之艾。周晋秦隴謂之公、或謂之翁。南楚謂之父、或謂之父老」。
- (5) 『尚書』文侯之命「即我御事、罔或者壽俊在厥服、予則罔克」。
- (6) 『尚書』秦誓「雖則云然、尚猷詢茲黃髮、則罔所愆」。
- (7) 『說文』卷四·目部「眾、目相及也。从目、从隶省」。
- (8) 『爾雅』积言「逮、及也」。
- (9) 『方言』第三「迨逯、及也」。『廣雅疏証』(王念孫)卷五上·积言「逨趙、及也」。
- (10) 『漢書』百官公卿表上「内史、周官、秦因之、掌治京師」。
- (11) 『尚書』酒誥「矧太史友内史友、越猷臣百宗工」。
- (12) 『左伝』僖公二十八年「王命尹氏及王子虎内史叔與父策命晋侯為侯伯」。
- (13) 『左伝』襄公十年「使周内史選其族嗣納諸霍人、礼也」。
- (14) 『大戴礼記』盛德「天子御者、内史太史左右手也」。
- (15) 『說文古籀補補』(丁佛言)附録· 「周公彝。 井侯服。或謂是古割字」。
- (16) 『廣雅』卷二·积詁「斬割鉞裂規(規)、裁也」。
- (17) 『爾雅』积詁「柯憲刑範辟律矩則、法也」。
- (18) 『說文』卷二·品部「品、衆庶也」。
- (19) 『尚書』禹貢「厥貢惟金三品」。
- (20) 『荀子』君道「夫文王非無貴戚也、非無子弟也、非無便嬖也、倜然乃举太公於州人而用之、豈私之也哉」。
- (21) 『諸子平議』(俞樾)卷十·荀子一「樾謹按州人当從韓詩外伝作舟人。太公身為漁父、而釣於渭濱。故言舟人也。舟州古字通」。
- (22) 『說文解字句詁』(王筠)卷二十二「借州為疇」。
- (23) 『說文』卷十一·川部「水中可居曰州、周遶其旁、从重川。昔堯遭洪水、民居水中高土、或曰九州。詩曰、在河之州。一曰州、疇也。各疇其土而生之」。
- (24) 『詩經』国風·周南·閔雝「閔閔雝鳩、在河之洲」。
- (25) 『博物志』(張華)卷一「趙東臨九州、西瞻恒嶽。有沃瀑之流、飛狐井陘之險、至于潁陽涿鹿之野」。
- (26) 『逸周書』職方解「乃辨九州之国」。
- (27) 『史記』孟子荀卿列伝「騶衍……終始大聖之篇十余万言。……中国名曰赤鼎神州。赤鼎神州内自有九州、禹之序九州是也、不得為州数。中国外如赤鼎神州者九、乃所謂九州也。於是有裨海環之、人民禽獸莫能相通者、如一区中者、乃為一州。如此者九、乃有大瀛海環其外、天地之際焉。其術皆此類也」。

- (28) 『孟子』 尽心上・離婁上「太公辟紂、居東海之濱、聞文王作興」。
- (29) 『詩經』 魯頌・閟宮「乃命魯公、俾侯于東。……奄有龜蒙、遂荒大東」。
- (30) 『尚書』 金縢「周公居東二年」、序「唐叔得禾、異畝同穎、獻諸天子。王命唐叔歸周公于東、作歸禾」。
- (31) 『史記』 周本紀「周公受禾東土、魯天子之命」、魯周公世家「寧淮夷東土、二年而畢定。諸侯咸服宗周。天降祉福、唐叔得禾、異母同穎、獻之成王、成王命唐叔以餽周公於東土、作餽禾。周公既受命禾、嘉天子命、作嘉禾。東土以集、周公歸報成王、乃為詩貽王、命之曰鷓鴣」。
- (32) 『尚書』 牧誓「逖矣、西土之人」。
- (33) 『公羊傳』 僖公二年「記曰、唇亡則齒寒。虞郭之相救」、『左傳』 僖公五年「諺所謂輔車相依、唇亡齒寒者、其虞虢之謂也」。
- (34) 『說文古籀補補』 (丁佛言) 第五・膏・九葉「此与部首  土部古文墉本為一字。說文中三見。愚案古郭城墉皆祇作  純為象形字。後因字多用異、一為部首、一附墉。字下在此則訓用与庸字通。原書积膏非是。  毛公鼎。余非庸又昏。吳憲齋說廓非」。
- (35) 『尚書』 牧誓「王曰、嗟、我友邦冢君御事司徒司馬司空亞旅師氏千夫長百夫長及庸蜀羌髳微盧彭濮人。稱爾戈、比爾干、立爾矛、予其誓」、孔傳「庸濮在江漢之南」。
- (36) 『尚書後案』 (王鳴盛) 卷十一「庸者、文十六年傳、庸濮伐楚、楚人出師、百濮罷、使盧戢梨侵庸、及庸方城、楚師北、裨儵魚人逐之、楚師分為二隊、子越自石溪、子貝自仞以伐庸、秦人巴人從楚師、遂滅庸。杜預曰「庸、今上庸縣、屬楚小國。百濮、夷也。濮、夷無屯聚。見難則散歸。戢梨、盧大夫。方城、庸地。上庸縣東有方城亭。裨・儵・魚、庸三邑。魚、魚復縣、今巴東永安縣。石溪・仞、入庸道」。拋此則庸地可推而知晉上庸。今為湖北鄖陽府房縣。其地在江之北漢之南」。
- (37) 『左傳』 文公十六年「庸人帥群蠻以叛楚。……楚子乘駟、會師于臨品、分為二隊。子越自石溪、子貝自仞、以伐庸。秦人巴人從楚師。羣蠻從楚子盟。遂滅庸」、杜預注「庸、今上庸縣、屬楚之小國」。
- (38) 『史記』 周本紀「周公受禾東土、魯天子之命」、『集解』「徐廣曰、尚書序云旅天子之命」。
- (39) 『史記』 魯周公世家「周公既受命禾、嘉天子命」、『集解』「徐廣曰、嘉一作魯。今書序作旅也」。
- (40) 『史記志疑』 (梁玉繩) 卷三「魯天子之命。附案書序作旅天子之命。積詰云旅陳也。魯世家作嘉天子命。疑史公以意改之。然徐廣謂嘉一作魯。此又明作魯字。則索隱以魯為誤者非矣。考宋丁度『集韻』旅古作魯。而字之所以通用者。古文旅魯字皆作表。故旅亦作魯。見『說文』及『左傳』首篇疏。又宋董道廣川書跋云。秦和鍾曰。以受毛魯多釐。魯古文旅」。
- (41) 『詩經』 小雅・桑扈之什・賓之初筵「穀核維旅」、『毛傳』「旅、陳也」。
- (42) 『左傳』 莊公二十二年「庭實旅百」、杜預注「旅、陳也」。[按：本文の「廿六年」は誤植]
- (43) 『說文古籀補補』 (丁佛言) 第九・廟・六葉「 周公彝。从  省。  古潮字」。
- (44) 『說文』 卷十一・灝部「灝、水厓、人所賓附也」。
- (45) 『國語』 晉語二「驪姬以君命命申生曰、今夕君夢齊姜、必速祠而歸福」、韋昭注「福、胙肉也」。
- (46) 『禮記』 禮器「孔子曰、我戰則克、祭則受福」。
- (47) 『詩經』 周頌・清廟之什・清廟「對越在天、駿奔走在廟」。
- (48) 『禮記』 大傳「遂率天下諸侯、執豆籩、遂奔走」。
- (49) 『禮記』 祭法「祭法。有虞氏禘黃帝而郊嚳、祖顓頊而宗堯。夏後氏亦禘黃帝而郊鯀、祖顓頊而宗禹。殷人禘嚳而郊冥、祖契而宗湯。周人禘嚳而郊稷、祖文王而宗武王」。
- (50) 『論語』 堯曰「堯曰、咨、爾舜、天之曆數在爾躬。允執其中。四海困窮、天祿永終」、『義疏』「永、

長也。終猶卒竟也。若內正中国、外被四海、則天祚禄位長卒竟汝身也。

- (51) 『論語稽求篇』(毛奇齡) 卷七・允執其中四海困窮天祚永終「閻潜丘(閻若璩)云、四海困窮是敬辭、天祚永終是勉詞。四海当念其困窮、天祚当期其永終。雖与子良說亦稍有異見、而其旨則同。蓋天祚永終則斷無作永絕解者。潜丘当謂漢魏以還俱解永長。典午以後、始解永絕。此正古今升降之辨」。
- (52) 『奇觚室吉金文述』(劉心源) 二之鼎文二・仲師父鼎・七葉「呂考為孝。……又呂孝為考」。
- (53) 『貞松堂集古遺文』(羅振玉) 卷四・周公彝・四十九葉「豕邵朕福血朕臣天子」(銘文第七行)、「考即孝。古金文老考孝三字通用」。「按：本文が召字とするのは誤植であろう。参考資料①を参照」
- (54) 『字說』(吳大澂) 韶字說「大澂嘗謂古文召紹韶招召昭為一字」。
- (55) 『說文古籀補補』(丁佛言) 第七・盟・三葉「 周公彝。邵朕福盟。象兩手奉槃散之形。○象血形」。
- (56) 『說文古籀補補』(丁佛言) 第二・冊・十二葉「 周公彝」。
- (57) 『書序』「成王東伐淮夷、遂踐奄、作成王政」。
- (58) 『尚書正義』蔡仲之命「周公攝政之初、奄与淮夷從管蔡作乱、周公征而定之。成王即政之初、淮夷与奄又叛、成王親往征之。成王東伐淮夷、遂踐滅奄国。以其数叛、徙奄民。作誥命之辭、言平淮夷徙奄之政令。史叙其事、作成王政之篇。成訓平也、言平此叛逆之民、以為王者政令、故以成王政為篇名」。
- (59) 『尚書』康誥「惟三月哉生魄、周公初基作新大邑于東国洛、四方民大和会。侯甸男邦采衛百工播民和見士于周。周公咸勤、乃洪大誥治」。
- (60) 『左伝』定公四年「昔武王克商、成王定之、選建明德、以藩屏周、故周公相王室以尹天下、於周為睦、分魯公以大路大旂、夏后氏之璜、封父之繁弱、殷民六族條氏徐氏蕭氏索氏長勺氏尾勺氏、使帥其宗氏、輯其分族、將其類醜、以法則周公、用即命于周」、杜預注「即、就也。使六族就周、受周公之法制」。
- (61) 『左伝』定公四年「分之土田倍敦祝宗卜史備物典策官司彝器、因商奄之民、命以伯禽、而封於少皞之虛。分康叔以大路少帛綺旆旌大呂殷民七族陶氏施氏繁氏錡氏樊氏飢氏終葵氏、封畛土略、自武父以南及圃田之北竟、取於有閭之士以共王職、取於相土之東都以會王之東蒐。聘季授土、陶叔授民、命以康誥、而封於殷虛。皆啓以商政、疆以周索」、杜預注「疆理土地以周法。索、法也」。
- (62) 『左伝』定公四年「分唐叔以大路密須之鼓闕鞶沽洗懷姓九宗職官五正、命以唐誥、而封於夏虛、啓以夏政、疆以戎索」、杜預注「懷姓、唐之余民。九宗、一姓為九族。職官五正、五官之長」。

4、『通釈』引用部分

○艾

→「内藤湖南博士は艾にして耆艾の称とする。」(又 592 頁)

【按】耆艾^{きがい}とは老人のこと。『通釈』は、艾と隸定する。

○州人、～亦即九河之州所棲之民。

→「金文では某人という場合、特定の氏族名を冠しているのが例であり、「九河之州所棲之民」という漠然たる表現をとることがない。」(598 頁)

○東人。東從丁容二氏釋。……是知東人者東土之人。

→「湖南博士は東にして東人・東土の人とする解であるが、やはり語例に合わない。」(599頁)

【按】『通釈』は、**東**と隸定する。

○庸人、～又左伝文十六年。庸為楚所滅。杜注今上庸県。是也。

→「亭を于〔省吾〕・陳〔夢家〕は左伝文十六年「庸人帥群蛮以叛楚」の庸、すなわち上庸県をその地としている。同じ説が湖南博士の考釈にもみえている。」(599頁)

○三帝謂虞夏商之帝。三恪之祖所自出～礼記祭法。虞夏皆禘黄帝。殷人禘嚳。

→「内藤博士もまた字を三帝と釈し、礼記祭法の三代禘祀の説を引いている。」(602頁)

○無終者、天命不能竟也、～夏商周三代迭興之説也。

→「博士は「三帝無終、命于有周」を句とし、周室の命が永遠であることを願った意とするもので、于・陳の解も要するにこれと同じ。」(603頁)

○召朕福、盟朕臣、誥命之辞、至此而終。召從羅氏振玉釈。今読為紹。

→「内藤博士は「今読為紹」という。」(604頁)

【按】『通釈』は、**召**と隸定して「**召朕福盟**」で句とする。

○案周公既平武庚管蔡之乱、～此器疑作于此分封之際。以紀周公之政。割井侯服。賜州人東人。皆其事也。




→「内藤博士はこの器を周初分封の行われたときの器とし、邢侯の封建を記したものと解する。」(605頁)

邢侯彝

右邢侯彝文七十三西周初葉器近時出土洛陽艾霽皆人名霽从艸从害省疑古葛字書曷古文亦通也當爲人名艾疑井侯名井即邢此器紀王命內史錫霽之詞詞近古頗難曉服似謂井侯服采之地三族三地之田賦也卽州人重人壺人重字从人从束取人服重誼重鼎作俶舊釋人負束形是也庚午鼎曰庚午王命寢友辰相北田三品亦謂賦則之事所云品誼與此同魯天子休金文魯通嘏純嘏嘏字皆作魯是也爾雅釋詁嘏大也順字從家兄釋順逆古字皆從彳也宀疑受字異文無令于有周誼未詳內藤虎先生分釋無字爲無終二字以上文三帝無終爲一句並引史記索隱爲說今案無字下體特繁似可作兩字釋也作周公彝與器文邢侯亦相應左傳凡

蔣邢茅胙祭周公之胤也显字從家兄釋字與显弘尙显字相似显即温温朕臣蓋謙以接下之誼此器疑初封之邢侯爲周公所作者字體亦當在周初成康之時者也

③容庚撰集『《金文編》稿本』（中華書局、2022年）に引く「周公敦」
→容庚の積文を鍵括弧で示した。

 隹 105頁  三 14頁  月 184頁

 艾 19頁  眾 100頁  内「内史」145頁  史 85頁

 「王令艾眾内史」 井侯服 387頁  井「井侯」140頁付箋  侯 147頁

 易 251頁  臣 88頁  品「錫臣三品州人東人章人」53頁

 州「州人」276頁  人 211頁  「東人」438頁  章「章人」148頁

 拜 288頁  頤 239頁  首 238頁  天 10頁  夙 454頁

 福 11頁  克 191頁  奔 263頁  走 38頁

 于 130頁  有 186頁  周 35頁  追 48頁  考 227頁

 豕「不敢豕」25頁  「邵朕福」 朕臣 427頁  公 26頁